

ふじのくにエネルギー総合戦略の概要

【現状・課題】

<現状>

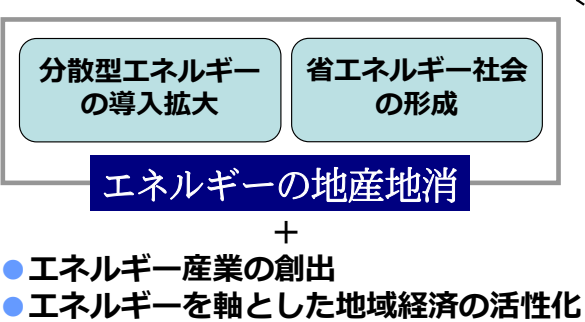
- 国際情勢 温暖化対策が急務：パリ協定の採択・発効
- 国 安定供給・環境対策・経済性の観点からのエネルギーミックス、エネルギーシステム改革
- 県内
 - 新エネルギー：(H26) 80.5万kl → (H27) 93.1万kl
太陽光発電が原動力となり、着実な導入拡大
 - 地産エネルギー：水力発電所増強、小規模火力立地
 - 省エネルギー：エコアクション21認証事業所数 全国1位

<課題>

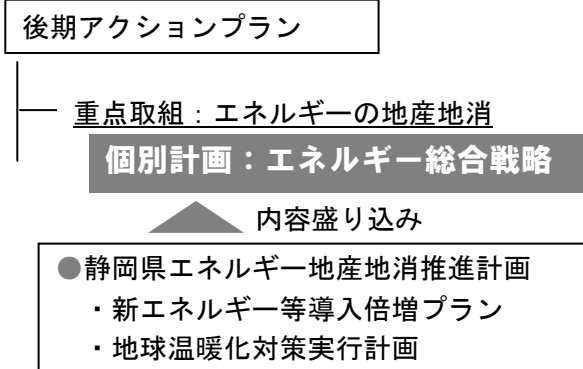
- 分散型エネルギーの導入拡大
 - ・地域資源を活用した小水力・バイオマス等導入促進
 - ・太陽光発電：買取期間満了後の導入促進
- 省エネルギー社会の形成
 - ・住まい・事業所の省エネ化の抜本的対策
 - ・省エネ型ライフスタイル・ビジネススタイルの定着
- 地域経済の活性化
 - ・エネルギーの地産地消による新たな産業の創出
 - ・経済成長と省エネルギー化の同時推進

【計画の基本的事項】 ※次期総合計画の策定に合わせて見直し予定

<趣旨>



<戦略の位置付け>



<計画の期間> 平成29年度から平成32年度

<戦略の指標>

	実績	目標 (H32)
地産エネルギー導入率	14% (H27)	22%
地産エネルギーによるエネルギー自立化率	39% (H27)	1/2
新エネルギー等導入量	93万kl (H27)	156.7万kl
太陽光発電の導入量	118万kW (H27)	200万kW
住宅用太陽光普及率	5.0% (H25)	10%
エネルギー消費効率	92 (H26)	86

<進行管理>

- ふじのくに未来のエネルギー推進会議
- 地球温暖化防止県民会議
- ほか関係会議

【目指す姿】

エネルギーの地産地消による新しいライフスタイルの創出
エネルギー産業の振興による暮らしや企業活動を支える基盤の強化

【重点取組】

戦略1 <創エネ> 地域資源の活用による多様な分散型エネルギーの導入拡大

取組内容	個別目標	
太陽光	●戸建て住宅への導入促進 ●自家消費を中心に利用する設備の導入促進	住宅用太陽光普及率 10% 200万kW
太陽熱	●戸建て住宅に加え事業所用設備の導入促進	10万kl
バイオ・中小水力・温泉	●地域特性を生かした多様な事例の導入促進	バイオ：発電6万kW・熱利用6万kl 中小水力1.9万kW、温泉100kW
ガスコージェネレーション	●工場・商業施設、医療施設等への導入促進	85万kW
水素	●ステーション整備・活用、FCV普及促進	ステーション6基、FCV1,500台

戦略2 <省エネ> 建築物の省エネ、ライフスタイル・ビジネススタイルの変革

取組内容	個別目標	
住まい・事業所	●住宅・事業者用建築物の省エネ性能向上	ZEB推進員：30人
ライフスタイル・ビジネススタイル	●県民運動「ふじのくにエコチャレンジ」の展開	参加者数：167,000人
運輸	●次世代自動車普及、エコドライブ	

戦略3 <経済活性化> 地域企業によるエネルギー関連産業への参入促進

取組内容	個別目標	
エネルギー関連産業への参入支援	●エネルギー事業参入に必要な初期負担の軽減 ●静岡版メタン発酵プラントの事業化・普及	<プラント普及> 3箇所
新たなエネルギー関連産業の創出	●地産地消型バーチャルパワープラントの構築 ●次世代自動車関連の製品化及び販路開拓支援 ●水素関連の情報収集、研究開発促進、マッチング支援	<次世代自動車等> 累計40件 <水素>2事業
多様な産業との連携による地域経済の活性化	●施設園芸へ新エネ設備、高度環境制御・通信技術導入 ●2020オリンピック・パラリンピック、ワールドカップ2019でのEV・FCV活用 ●地域の特色を生かした最新エネルギー需給システム構築、情報発信 ●エネルギー事業を支える人材の育成	各4箇所 ZEB推進員30人

